

令和5年度 南アルプス市立若草小学校 学校評価 学校関係者評価書

令和6年1月19日（金）
学校関係者評価委員会作成

【第2回学校関係者評価委員会】

- 1 実施日 令和6年1月19日（金） 午後2時より
- 2 会場 校長室 ※評価委員会の前に、30分程度、各教室を授業参観。
- 3 学校関係者評価委員 三井 幸夫（下村区自治会長）
北村 敏（スクールガードリーダー 元教員）
上田 美弥（主任児童委員）
河西 仁（保護者代表・PTA会長）
志村 知恵子（保護者代表・PTA副会長）
学校 時田 直人（校長） 永関 修（教頭）
清水 ゆみ（教頭） 福井 初美（主幹教諭）
- 4 協議の内容
※学校評価の結果と改善策について説明後、意見交換を行った。
○…委員からの意見・感想 ☆…学校の考え
○校舎内を回ってみて仮設校舎は意外と暖かく過ごしやすい。綺麗で構造もよくできている。コロナやインフルエンザの状況はどうなっているか？
☆児童の教室は南側になっており、エアコンを入れると暖かい。コロナやインフルエンザの罹患状況は、落ち着いている。
○家庭学習の定着は中学校でも低かった。それを解決するにはどうしたらよいか。
☆家庭学習強化週間の実施を行っている。定着につながるかが課題となっているが、自分の中で目標を持てるとよい。家庭学習をパターン化すると習慣化につながる。家庭学習強化週間という目標があると児童がもっと知りたいとか面白いと思えるようになる。
○家庭学習では、小学校では学習プリントがあるので取り組みやすい。中学校でのタブレットだけの学習課題になると保護者が内容を確認しづらい面もある。
○仮設の児童玄関は1か所になっておりシンプルで使いやすい上、児童同士の関わりが持てるのでよい。
☆玄関が一か所になったが、他の非常口（4か所）からも避難できるため、訓練でスムーズに避難することができた。
○学校評価のすべての項目でA評価であったが、4（そう思う）や3（どちらかというと思う）

- の回答の中で3の回答の内容に焦点を当てて手立てを考えていくこともよい。
- 子どもたちのこうしてほしいという要望を聞いてあげる機会があるとよい。
 - ☆中学校では生徒会が中心となって制服の内容を変えてきているが、それと同じように小学校でも児童会活動の中、特に代表委員会の中で児童の要望を聞き取っている。
 - パソコンだけでは覚えられない面がある。書かせて覚えることも大切である。
 - 仮設での生活では、今後、下の階にいる児童は上の階の児童の音を聞きストレスがたまってくるため、今後子供のストレスを聞いてあげることが大切。教科書で教える学習内容が増える中、何を教えるのかを絞ってあげることが大切で、軽重を付ける中で先生方が授業改善をやってきた成果が、2（学習指導）や3（家庭学習）の評価項目の結果に表れている。
 - ☆本校では教科担任制を導入し5，6年生では教師が複数クラスの学習指導をしている。児童の興味につながっているのではないかと思う。
 - 先生方が夜遅くまで仕事をされていて大変だが、働き方改革はどうか。
 - ☆引っ越しのため、年末年始なかなか業務改善が進まないことがあった。教科担任制を進める中で、教材準備等の時間を削減できる面がある。しかし、教員の確保が必要である。中学校のように一学年を6，7人で教える環境が小学校にもできるとよい。